



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシテイビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。 題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成19年 11月号
No.197

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

まさか続きの国政

問われる参院第一党、民主党の責任



民主党両院議員懇談会で辞意の撤回を表明する小沢代表

望まれる国益優先の政治

何が起きても驚かない、不思議でないのが最近の政界。まさか、まさかの連続である。先の参議院選挙での惨敗の責任を取って当然、安倍総裁は辞任するものと思われていたが、大方の予想を覆して政権継続を表明した。今後は強気で政権を運営するものと見ていたら、臨時国会で所信表明をしただけで、代表質問を受けずに、唐突に辞めると言った。前代未聞の出来事に日本中がびびり。一方、民主党を中心に参議院で過半数を制した野党は鼻息が荒かった。この調子で総選挙に突き進むのかと思っていたら、福田総理と小沢代表が党首会談を行い、大連立の話をしたとかしないとか、民主党は蜂の巣をつついたような大騒ぎ。党役員から不信任を突きつけられたも同然と小沢代表は記者会見で辞任を表明した。殿のご乱心で民主党幹部は、右往左往のあわて振り。近い将来の選挙を考えれば、小沢しか党内をまとめられないと感留に努めた。その結果小沢氏も意思を翻して辞意を撤回した。何とも人騒がせな一週間であった。衆参のねじれ現象で、政治は停滞したまま。このままでは国益が損なわれる。自民党だけでなく、参議院で第一党となった民主党の責任も大きい。政権を担当する政党としての能力と責任があるかどうか民主党は試されている。

恒心

★4選出馬をめぐるその去就が注目されていた栢本市長が、先月来年2月の市長選挙に出馬せず、今期限内で勇退することを表明した。後継者を指名することもしない、引退後も一切公職に就くこともない大変潔い引退記者会見であった。★栢本さんは田辺前市長の突如の引退によって、市会議員の有志によって急遽担ぎ上げられ、教育長から候補者になった。市長部局からの候補者でないために幅広い支援が得られず、選挙は大変であった。幸い、僅少差であったが、勝つことが出来た。★当選後、早速当時助役と呼んでいた名前を副市長と変えた。これがきっかけとなり、法律も変わり市町村の助役はすべて副市長、副町長、副村長と呼ぶようになった。十分ではないが同和問題の解決も前進した。市民参加型行政を推進し、京都の公教育の改革に取り組んだ。京都の町を後世の人々に継承するために多くの反対を押し切って新景観条例を制定した。観光客5千万人構想の実現も間近である。★栢本さんにはまだまだやり残した仕事が多いと思う。しかし、都道府県の知事、政令指定都市の市長は人事権、予算編成権はじめ権限が非常に強い。権力は絶対に腐敗すると言われている。当選回数が増える、側近政治になり、人事が停滞し、職員士の気が低下して、腐敗の温床となりやすい。★今、知事や政令都市の市長の多選禁止が話題になっている。政府の研究会でも多選を禁止することは憲法に違反しないという結論を出した。神奈川県では多選禁止の条例も成立した。政治家にとって一番大事で、難しいのは出所進退だといわれている。栢本さんの勇退はいい潮時である。

二ノ湯政務官、総務委員会で初答弁

首長多選問題で持論を展開

福田内閣で、総務大臣政務官に再任して以来、早くも1ヶ月半が経過した。巨大官庁である総務省の二ノ湯議員の担当分野は、地方行政と消防庁で、毎日精力的に公務をこなしている。10月23日、参議院総務委員会で、末松信介議員(自民党・兵庫県選出)の首長多選についての質問に、政府側から二ノ湯政務官が答弁に立ち、準備の答弁書もなく、即興で答えた。

末松議員・自民党の行政改革本部で多選禁止についての会議があった際、二ノ湯政務官は、条例で多選禁止をするという強い意思のある議会は日本では少ない、したがって法律で規制するべきだと言われましたが、政務官になられてもお心の変化はございませんか。

二ノ湯政務官・多選禁止の問題は、憲法における平等の原則や立候補の制限、職業選択の自由という理由で、なかなか実現が難しくなりました。しかし、地方分権が進み、首長の力が非常に強くなり、多選による汚職問題が起こるなどとして、やはり首長の多選は制限すべきだという議論が出てきた。現在、地方議会の執行部と議会側の力の差は明らかで、首長の多選を制限するような条例が議会側から出てくることは考えられない。そのため、法律によって多選を制限すべきだと考える。多選禁止の法律は憲法に何ら抵触しないという報告書も出ているため、是非とも多選禁止の法律を作り、地方自治体や、その職員の士気を高め、ある一定の年限、一生懸命自治体の長も職員も頑張るといような体制を作りたいと考える。

この答弁に対して、末松議員は「大変勇気ある答弁、ありがとうございます」と、同期である二ノ湯政務官をねぎらった。答弁に立ったのは、この一問だけであったが、国会からの要求があれば、政務官は急な答弁にも立たなければならぬ。そのためには毎日勉強の連続である。



末松議員の質問に答える二ノ湯政務官

全国自治体病院協議会 自治体病院への支援を訴える

全国の多くの都道府県、市町村で運営している公立病院は現在医師不足と赤字経営に苦しみ存立すら危ぶまれている。自治体病院は、公平公正な医療を提供し、地域住民の健康維持増進を図り、地域の発展に貢献することを使命としている。公的医療機関でなければ対応することが困難な多くの採算の悪い医療分野を担うことが設立の主な目的となっている。結核などの感染症、精神科、麻酔科などの医療を積極的に推進している。最近では地域における医師不足が深刻であり小児科、産科、麻酔科の医師確保は公的医療機関に課せられた大きな役割である。しかし、病院の勤務医の労働条件は極めて厳しく、月に150時間以上の過酷な勤務状態となっており、これが解消しなければ、

参議院選挙での自民党敗北で、都市と地方の格差問題が盛んに言われ出した。地方の格差の解消には、地方が頑張ることができる都市基盤整備の充実をはかることが重要である。中でも、高速道路をはじめとする幹線道路の整備促進は、優先して急がなければならない。京都の道路整備は、他の道府県と比較して大変遅れているのが実情である。高速道路のネットワークがないため、京都はまだまだ均衡ある府内全域の発展が望めない。京都の南部を横断する新名神、大山崎から長岡京市、そして京都市を通過する第二外環状道路、京都府の北部と京都市をつなぐ京都縦貫自動車道の日も早い開通を急がなければならない。先月17日、京都縦

新名神等の高速道路の早期整備を 京都府関係者大挙上京

退職して都会で開業する医師の流出が止まらず、公的病院でも良質な医療を提供できなくなる。医師が使命を持つて働くことが出来る、良好な医療環境を作ることは緊急の課題であり、国を挙げて取り組まなければならない。自治体病院を運営する自治体で組織する全国自治体病院協議会(会長・岡田荘史長野市議会議員)の役員が総務省に二ノ湯政務官を訪ね、自治体病院の充実強化のため、国の財政支援を求めた。

貫自動車道、新名神高速道路等整備促進協議会の会員である府下の市長、町長、民間団体の方々が、二ノ湯総務大臣政務官を訪問、京都府に関連する高速道路の整備を促進するよう要望した。二ノ湯政務官は「格差解消と地域活性化には道路をはじめとする都市基盤整備が大事であることは十分承知している。そのためにも、遅れている京都の高速道路整備の早期完成に努力したい」と答えた。



京都府下の市長、町長より道路整備促進の陳情



自治体病院協議会の役員から要望を聞く



国書を読み上げる二ノ湯参議員と
呉榮煥大阪総領事

朝鮮通信使400周年記念行列 新しい日韓の時代を拓く 二ノ湯参議員京都所司代役に

平成19年叙勲、勲章伝達式

緊張の京都の受賞者たち

今年の秋の叙勲で、総務省関係の勲章受賞者総数は951名(消防関係は除く)で、京都府からは21人が榮譽に輝いた。11月8日、グラントプリンスホテル赤坂で勲章伝達式が行われた。式には増田総務大臣、二ノ湯、岡本政務官、そして瀧野事務次官はじめ総務省の幹部職員が出席した。勲章伝達式は、司会者が旭日章から瑞宝章まで全受賞者の氏名を一人づつ読み上げ、その後各勲章ごとに代表者が夫婦同伴で登壇、総務大臣より勲章を受領した。今回の受賞者の中には、京都府会議員(木村繁雄、

酒井国生、高山寛)、京都市会議員(北川明、国枝克一郎、中村安良)の経験者が6名いて、いずれも旭日章(旧制度で勲三等旭日中綬章・瑞宝章)を受領した。このクラスは通常都道府県知事、又は大企業の社長を歴任した人が受賞する。6名の方達が、永年にわたって京都市政、京都市政を通じていかに地方自治発展に貢献したかがうかがえる。この6名は共産党の勢いが強かった昭和40年代の京都政界に参画した。当時は全員青年議員であったが、勲章を受章する年齢に達した。まさに昔日の感である。二ノ湯議員もほぼ同時期に政治の社会に参加、同志として政治活動を続けてきた。今年の統一選を機に6名全員が後進に道を譲り勇退、京都府会、京都市会も大きく顔ぶれが変わり、京都政界も世代交代時期に入った。

11月3日文化の日、朝鮮通信使再現行列が行われた。朝鮮通信使の歴史は遠くは室町時代にさかのぼる。江戸時代の朝鮮通信使は、豊臣秀吉が朝鮮侵略をして途絶えていた日本と朝鮮との国交を回復し、両国関係を改善するために徳川幕府が対馬藩を通じて働きかけた。一六〇七年に、朝鮮から通信使が来日してから今年が400年の記念すべき年である。この節目の年に京都で通信使行列の再現をしようと言う声が関係者の間から高まり、韓国政府、京都民団、そして関係者の協力で実現した。行列の出發前、京都市立柳池中学校で記念式典が行われ、2代目京都所司代板倉勝重役の二ノ湯



左より二ノ湯氏、北川明氏



左より酒井国生氏、高山寛氏、二ノ湯氏、中村安良氏

参議員と朝鮮通信使行列の正使役である駐大阪大韓民国総領事呉榮煥氏とが国書を交換した。双方の国書には今後の日本と大韓民国との平和と友好の絆を一層強化する内容が込められていた。行列には日韓双方から約250人が参加し、御池通から京都市役所、四条河原町、八坂神社を通過して円山公園までパレードした。鳴り物入りの派手な行列に沿道の市民は最初はびっくりして見ているが、歓迎する声も多かった。この行列の京都での再現に尽力した朝鮮通信使研究者である仲尾宏京都造形芸術大学客員教授は、「通信使との縁が深い京都で再現できて本当に良かった」喜んでいて。

新春招福バスツアー 第21回 伊勢神宮初詣

- ◇旅行日 平成20年1月14日(月・祝)
- ◇昼食場所 賢島『宝生苑』
- ◇申込締切日 平成19年12月15日(土)

- ◇会費 8,500円
- ◇申込先 後援会役員または二ノ湯さとし京都事務所まで

TEL(075)315-2228
FAX(075)315-2310

恒例の伊勢神宮初詣。一年間の幸福を祈願し、新たな気持ちで新年を迎える行事として、

多くの方々のご参加をお願いいたします。

参議院議員 二ノ湯さとし後援会



総理大臣祝辞を代読する二ノ湯政務官

全国女性消防操法大会、 上京消防隊、 健闘及ばず入賞逃がす

10月15日、全国女性消防操法大会が、横浜市の日本消防協会中央消防訓練場で全国47都道府県の代表チームが参加して行われ、京都府からは上京区の女性消防隊が出場した。二ノ湯総務大臣政務官は出席し、内閣総理大臣の祝辞を代読した。この競技は小型消防ポンプのエンジンを掛け、ホースをつなぎ、水槽から水を汲み上げて、6mと8m先にある2つのビーチボールを落とす。迅速な行動、確実な操作、消防用機械器具の精通などが審査の基準となる。開会前に控室で来賓たちが、「ポンプのエンジンが1回でうまく掛かるかがこの競技のポイントだ」と話していた。12番目に登場した上京消防隊は持参した小型ポンプがスムーズに掛からず数回目にやっと動いた。その後は順調に進んだが、ポンプに手間取ったために入賞を逸した。代表に決定してから訓練を重ねてきただけに大変気の

毒であった。京都からは各行政区の消防団長が応援に駆けつけていたが、ポンプさえうまくいっていただけに入賞出来ていたのにと残念がっていた。

身辺雑記

一、前防衛事務次官の守屋武昌氏の証人喚問が行われた。防衛省に武器を調達している業者から200回以上もゴルフの接待を受けていることが明らかになった。それも夫婦同伴が多かったと言う。あきれて開いた口が塞がらない。

一、その点、私はゴルフはめったにやらないし、麻雀は出来ないし、競馬、競輪、競艇といったギャンブルには全く興味がない。石部金吉ではないが、私などは誘惑しにくい人間である。

一、インド洋などで日本の防衛のために命がけで働いている多くの自衛官にどう説明するのか。申し訳ない気持ちで一杯である。防衛のトップがこの体たらくでは、政府が成立に全力を挙げている新テロ特別措置法の前途も厳しい。

一、ボクシング世界選手権内藤対亀田大毅との試合はまるで格闘技。亀田一家挙げての反則の繰り返しは、見ている人を非常に不快な気持ちにさせた。世間知らずで、未熟な若い亀田選手をおだて上げているマスコミの責任も大きい。

一、毎年の伊勢神宮初詣では御福餅の店に寄り、伊勢茶で餅を食べ、土産に赤福を買うのが定番であった。二つとも老舗で食品

衛生法違反とは無縁であると思っていた。ピンク色の包装紙の赤福はお伊勢さんと一体のイメージがあるだけに、伊勢参拝に悪い影響を与えるのではないかと心配だ。

一、天高く馬肥ゆる秋、食べ物が美味しい季節である。また、美しい自然の移り変わりを鑑賞し、文化に浸る秋でもある。先月、久しぶりに芝居を見、神田と百万遍の古本まつりにも足を運んだ。普段忙しい人間にとって精神的な余裕を持つことは大事なことである。

「新政経懇話会」入会のお願

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料 1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —
二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>

第175回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：11月25日(日) (小雨決行)
- ・集合時刻：午前7時50分(時間厳守)
- ・集合場所：JR京都駅 奈良線10番ホーム
- ・出発時刻：8時03分発→玉水駅8時58分着
- ・費用：JR京都駅から玉水駅まで片道480円
フルーツライン農園入園料：800円(ミカン狩り・柿狩りいずれか)
- ・コース：JR玉水駅→玉川沿い→井堤寺跡→南谷川→ホテル公園→フルーツライン農園と朝市→JR山城多賀駅(解散)
- ・今回は自然あふれる井手町を歩き、秋の味覚ミカン狩り・柿狩りを楽しみ、朝市では新鮮な野菜などをお買い求めいただくコースを企画いたしました。秋深まる山城で、秋の味覚を楽しむ歩こう会に是非ご参加ください。

(当日) ☎090-1956-7460

歩くことは 健康の基本

第174回 みんなで歩こう湯歩会(参加者63名)



赤山禅院にて